

6月市議会

金子貞作議員が代表質問

負担軽減、施設の増設を求めて

6月市議会では、金子貞作議員は14項目の代表質問を行いました。一部を紹介します。

公共施設の削減・縮小

市川市は「公共施設等総合管理計画」をつくり、人口減少や施設財政難を理由に公共施設を削減・縮小し、15年間で面積12万㎡を削減する計画です。

市は年内に個別計画を公表

可能とするために、目標達成は不可欠と認識している。

13校分の削減見直し求める

(金子議員) 施設の削減は市民に大変な影響がある。施設別のプログラム計画はいつ頃、市民に公表するのか。(経営改革室長) 今後学校13校分の削減目標。

(金子議員) 学校は9万3千㎡(20%)、小学校13校分の削減目標。川市立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する方針に基づいて、学校の再編・整備方針を明らかにする。施設統廃合以外でも共有化や、他の用途への転用などな

【主な施設削減計画】

●学校	▲9万3276㎡	(▲20%)
●市営住宅	▲6,618㎡	(▲5%)
●集会施設	▲1,602㎡	(▲5%)
●幼稚園・保育園	▲5,504%	(▲20%)
●障がい者施設	▲1,390㎡	(▲26%)
●スポーツ施設	▲1,018㎡	(▲5%)
●図書館	▲584㎡	(▲5%)
●博物館	▲255㎡	(▲5%)
●産業施設	▲11,300㎡	(▲83%)
●駐輪場	▲394㎡	(▲5%)

※数値は削減目標

国有地活用し福祉施設を

学校は地域の避難場所であり、地域の中核の施設である。延命化が可能なのは削減でなく、できる限り長く残す考えはないのか。(経営改革室長) 「市川市立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する方針」に基づいて、学校の再編・整備方針を明らかにする。施設統廃合以外でも共有化や、他の用途への転用などな

施設使用料引き下げを

活用するとはいいませんでした。公民館などの公共施設やスポーツ施設使用料が3倍になり、市民活動が委縮するなど影響が市民団体の調査でも明らかになっていいます。市は「今まで安すぎた。市民には概ね理解されている。抑制とは言えない」と強弁しました。

宮久保6丁目広場の改善を

市民から寄付された農地約1万3千㎡。「水はけが悪いこともあり、市民があまり使っていないとはいえない」と指摘し、排水対策などを求めました。市は「近隣の自治会や保育園から使用の申し込みがあり利用されている。広場の一部のぬかるみ状態は、今後、残土搬入による改善などを検討中である」と答弁しました。

ヒバクシャ国際署名

市がホームページで呼びかけ

核兵器禁止条約の制定をめざす国連の交渉会議が開かれているのに、唯一の戦争被ばく国である日本政府の不参加は情けない話です。(7月7日、国連で可決)

金子議員は、条約締結を後押しするためにも、「ヒバクシャ国際署名」を市民に呼びかけることを求めました。総務部長は「市長も国際署名に応じた」ことを明らかにし、今後「市のホームページでリンクし国際署名が簡単にできるようにする」と答弁しました。

日本共産党市川市議団

議会報告

2017年 8月22日発行 第299号
連絡先 (334) 1111 市役所内共産党控室



ご意見、ご要望などお寄せ下さい。皆さんの声を議会に届けます。



6月市議会 一般質問の内容

金子貞作市議が代表質問を行い、4人の市議は一般質問を行いました。数項目質問していますが、内容をお知らせします。

特別教室にもエアコンを

桜井雅人



市川市の公立小中学校のうち普通教室には全教室にエアコンが完備されていますが、481ある特別教室のうち316教室には

エアコンが未設置。「近年の温暖化の影響による夏の猛暑の中、特に火器を使う理科室、家庭科室へのエアコン設置は急務ではないか」と求めると「今年度は理科研修センター校である中山小、四中の理科室にエアコン設置工事を予定している」と答弁。子どもたちの健康、及び学習環境の確保のために今後もエアコン設置の推進を求めます。

エコボカードとは

廣田徳子



エコボカードの利用が始まってから、11年になりますが、周知されていません。概要についてやポイントが満点になると交換出来るメニューにはどんなものがあるのか、

また行徳地域で使えるメニューはあるのか、今後増やす考えはあるのか、質問しました。

交換メニューは、動植物園、市民プール、東山魁夷記念館、コミュニティバス、クリーンスパなど利用でき、市川市が発刊する文化関係図書との交換、花や野菜など農産物との交換ができます。行徳には文化施設や市民プールなどありませんし、クリーンスパは期間限定、人数限定です。コミュニティバスの乗車を1回でなく、往復にできないか、要望しました。

また、自治会主催の行事への参加でポイントを付けるなど加入促進へつなげています。自治会も高齢化が進み、新しい人の加入や自治会行事への参加が求められています。魅力ある交換メニューや、市川市のどこに住んでいても利用できるものがあればもっと活用できると考えます。

国民健康保険の広域化

高坂進

「国民健康保険が来年4月から広域化となり、運営が県に移管されるが、広域化後の保険税がどうなるのか試算が未だに示されていない。市民に資産の金額を知らせるべきではないか」という質問に対して、来年の保険税の納付算定が県から市に提示されるのは1月ということで、「来年からの値上げは無理。値上げは翌年以降になる」と答弁しました。

今でも高すぎて滞納者が3割にも上るのに、広域化によって、さらに値上げとなることが明らかになりました。

児童交通公園の安全対策

清水みな子



東菅野にある児童交通公園は今年3月にリニューアルオープンしました。公園を利用する親子連れが増えています。夏休みに入り、ますます利用が増えるなかで、出入り口の安全対策が不十分となっています。地元からは安全対策を求める声があり、質問しました。

市は、公園の出入り口脇の外壁に、横断歩道を渡る際の安全確認の看板の設置、車両に対してもスピード抑制など注意を促す看板を取り付けるなど、安全対策をしっかりと取って行くことを約束しました。

▼7月に臨時議会 三浦議員への議員辞職 勧告決議を可決

7月25日、市川市議会は7月臨時議会を開催。6月26日、三浦一成議員が児童買春・ポルノ禁止法違反容疑で逮捕された事件を受けて、刑事事件で逮捕された議員に対して報酬等の差し止めを可能とする条例案が審議されました。

日本共産党は「釈放後も自身の事件についてなんら説明責任を果たそうとしない三浦議員に対しては議員辞職勧告決議を上げるべき。推定無罪(*)の原則を逸脱する条例を作る必要はない」と主張しましたが賛成多数で可決。また日本共産党は、「無所属の会」と共同で三浦議員への「議員辞職勧告決議案」を提出。賛成多数で可決されました。

*推定無罪とは、裁判が確定するまでは「無罪」が推定されるといふ原則